

(19) **日本国特許庁(JP)**

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

實用新案登録第3214151号
(U3214151)

(45) 発行日 平成29年12月28日(2017.12.28)

(24) 登録日 平成29年12月6日 (2017.12.6)

(51) Int.Cl.

F 1

A47C 19/00 (2006.01)

A 4 7 C 19/00

B

A47C 19/04 (2006.01)

A 4 7 C 19/04

$$\mathbf{Z}$$

DO6F 57/12 (2006.01)

DO 6 F 57/12

$$Z$$

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 書面 (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2017-2022 (U2017-2022)

(22) 出願日 平成29年4月17日 (2017. 4. 17)

(73) 実用新案権者 500467611

小島 鑛八郎

埼玉県さいたま市西区プラザ4 1 番 1 号

(72) 考案者 小島 鑛八郎

埼玉県さいたま市西区プラザ4 1 番 1 号

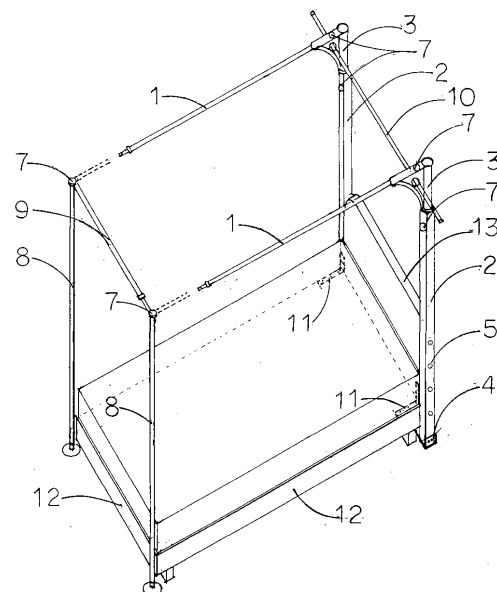
(54) 【考案の名称】 ベッド用寝具干竿

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 ベッド周りの空間に設置が可能で、回動・伸縮自在の使い易いベッド用寝具干竿を提供する。

【解決手段】ベッドのヘッドパネル左右角形支柱2と、パイプブラケット3と、伸縮干竿1の構成からなる寝具干竿で、ベッドフレーム12頭部のヘッドパネル13左右小口に角形支柱2を固定ビスで締め付けて自立させ、次にパイプブラケット3を角形支柱2頭部に差し込み、その水平部に伸縮干竿1を差し込んで方向を決め、双方の握り固定ネジ7で締め付けて片持梁式支持の寝具干竿を架設する。再度伸縮干竿1の竿を伸ばして補助サポート8頭部に振れ止め兼伸縮干竿9を重ね合わせ、上部から握り固定ネジ7で締め付けて架設の堅固と物干し場を広くする。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

ベッドのヘッドパネル左右角形支柱と、パイプブラケットと、伸縮干竿の構成からなる干竿架設で、前記パイプブラケットは、回動自在と片持梁式支持を可能としたことを特徴とする、ベッド用干竿架設。

【請求項 2】

前記角形支柱は、前記ヘッドパネルの左右小口及び背面に簡単に取り付けられる形状にしたことを特徴とする、請求項 1 記載のベッド用干竿架設。

【請求項 3】

前記伸縮干竿は、竿を伸ばして補助サポート頭部に振れ止め兼伸縮干竿を重ね合わせ、同時に握り固定ネジで締め付け架設の堅固と物干し場を広くしたことを特徴とする、請求項 1 又は請求項 2 記載のベッド用干竿架設。

10

【請求項 4】

前記振れ止め兼伸縮干竿は伸縮自在の為、前記ベッド幅の S から W サイズまで適用可能としたことを特徴とする、請求項 1 から請求項 3 いずれか記載のベッド用干竿架設。

【請求項 5】

ベッドフレームと前記ヘッドパネルを、L 型金物で補強して剛性を持たせたことを特徴とする、請求項 1 から請求項 4 いずれか記載のベッド用干竿架設。

【請求項 6】

前記補助サポートを使用すると、形状及び特別仕様以外の全ての前記ベッドに取り付けを可能としたことを特徴とする、請求項 1 から請求項 5 いずれか記載のベッド用干竿架設。

20

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、ベッド生活寝具類の清潔改善を考慮した、ベッド用干竿架設に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来のベッド生活は、見立ては綺麗で清潔そうに見えるが、現実には物干し場が外部しか無いのが一般で、寝具類はさっと簡単に整える程度が日常で、常に湿気を含み不潔の温床になっている。

30

【0003】

特許文献 1（参照）はヘッドパネル左右柱に上部にスライド式のパイプハンガーを 1 段設けただけで、ヘッドパネルが壁面に配置されると使用が不可能の欠点がある。本考案は既存ベッド全てに適用可能としている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】****【特許文献 1】特開 2008-302173 公報**

40

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

前記に述べた通りベッド生活は、見立ては綺麗で清潔そうに見えるが、現実には物干し場が外部しか無いのが一般で、寝具類はさっと簡単に整える程度が日常で、常に湿気を含み不潔の温床になっている。

【0006】

本考案は、このような不潔なベッド生活を解決しようとするものであり、ベッド設置周りの空間利用で、ベッド用干竿架設を実現することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

50

【0007】

本考案は、ベッドのヘッドパネル左右角形支柱と、パイプブラケットと、伸縮干竿の構成からなる干竿架設で、ベッド周りの空間利用で設置を可能とするものである。既存ベッドフレームとヘッドパネルをL型金物で補強して剛性を持たせ、その左右小口に支柱ベースを履かせた角形支柱を固定ビスで締め付けて自立させる。次にパイプブラケットを角形支柱頭部に差し込み、その水平部に伸縮干竿を差し込んで方向を決め、双方の握り固定ネジを締め付けて片持梁式支持の干竿架設は完成となるが、再度伸縮干竿を伸ばして補助サポート頭部に振れ止め兼伸縮干竿を重ね合わせ、上部から握り固定ネジで締め付けて架設の堅固と物干し場を広くした、ベッド用干竿架設。

【考案の効果】

10

【0008】

上述の様に、本考案のベッド用干竿架設は、ベッド周りの空間利用で設置を可能として、回動・伸縮自在の使い易い物干し竿を設けて清潔改善に寄与される。

【0009】

起床時、即寝具類を干せるので毎日の湿気と臭気を除去され、清潔が保たれ持ち良く眠れる。

【0010】

前記ベッド用干竿架設は、片持梁式支持架設でパイプブラケットの回動自在により方向を簡単に換えられるので、狭い部屋でも便利に使える。

【0011】

20

前記補助サポートの振れ止め兼伸縮干竿は、ベッド幅のSからWサイズまで適用可能である。

【0012】

従来のベッド生活は、見立は綺麗で清潔そうに見えたが、現実には万年床同然で不潔の温床、改善後は常に清潔が保たれ、ベッド生活の清潔革命である。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】 本考案のベッド用干竿架設の斜視図である。

【図2】 同ベッド用干竿架設の平面図である。

【図3】 同ベッド用干竿架設の側面図である。

30

【図4】 同ベッド用干竿架設の頭部側背面図である。

【図5】 同ベッド用干竿架設の物干し例斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0014】

以下本考案の実施の形態を添付図面、図1～図5に基づいて説明する。

【0015】

図において、ベッド用干竿架設は、既存ベッドフレーム12とヘッドパネル13を、L型金物11で補強して剛性を持たせ、次に角形支柱2に支柱ベース4を履かせ、ヘッドパネル13の左右小口下部に支柱ベース4を挟ませて自立させ、ルーズ孔キャップ5を外してその孔から固定ビス6で締め付ける。

40

【0016】

前記パイプブラケット3は角形支柱2頭部に差し込み、次に伸縮干竿1をパイプブラケット3の水平部に差し込んで方向を決め、双方を握り固定ネジ7で締め付けて片持梁式支持の干竿架設は完成となるが、再度伸縮干竿1を伸ばして補助サポート8頭部に振れ止め兼伸縮干竿9を重ね合わせ、上部から握り固定ネジ7で締め付け架設の堅固と物干し場を広くした。最後にパイプブラケット3内のリング部に補助干竿10を差し込んで完了。

【0017】

以下、上記構成の設置方法を箇条書きで説明する。

1 既存ベッドフレーム12とヘッドパネル13をL型金物11で補強する。

2 角形支柱2に支柱ベース4を履かせ、ヘッドパネル13の両側小口下部に支柱ベース

50

- 4を挟ませ自立させる。
- 3 角形支柱2側面のルーズ孔キャップ5を外してその孔から固定ビス6で締め付ける。
- 4 パイプブラケット3を角形支柱2頭部に差し込む。
- 5 伸縮干竿1をパイプブラケット3の水平部に差し込む。
- 6 同上の方向を決め双方握り固定ネジ7で締め付け片持梁式支持の干竿架設は完成。
- 7 再度、伸縮干竿1の竿を伸ばして補助サポート8頭部に振れ止め兼伸縮干竿9を重ね合わせ、上部から握り固定ネジ7で締め付けて自立させる。
- 8 最後に全体の調整と、両パイプブラケット3内のリング部に補助干竿10を差し込んで完了。

【符号の説明】

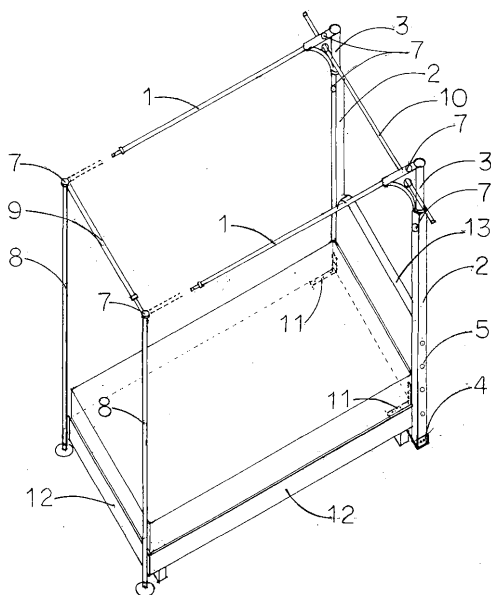
10

【0018】

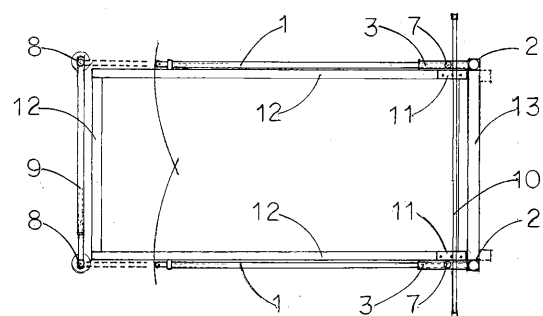
- 1 伸縮干竿
- 2 角形支柱
- 3 パイプブラケット
- 4 支柱ベース
- 5 ルーズ孔キャップ
- 6 固定ビス
- 7 握り固定ネジ
- 8 補助サポート
- 9 振れ止め兼伸縮干竿
- 10 補助干竿
- 11 L型金物
- 12 ベッドフレーム
- 13 ヘッドパネル

20

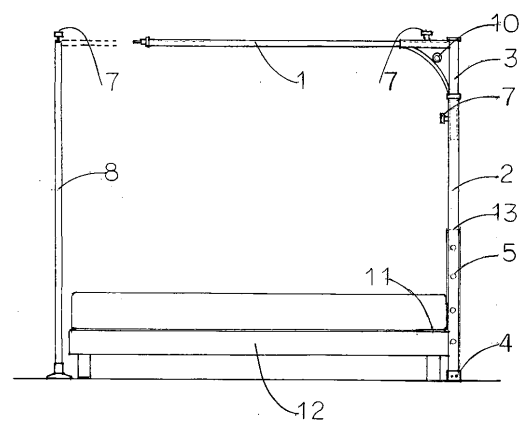
【図1】



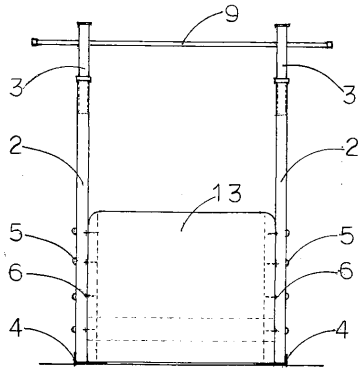
【図2】



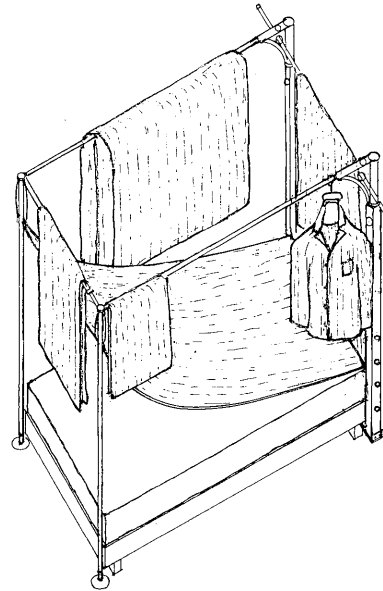
【図3】



【図 4】



【図 5】



【手続補正書】

【提出日】平成29年6月20日(2017.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ベッドのヘッドパネルの左右角形支柱頭部に、パイプブラケットを差し込み、水平部パイプ小口に伸縮干竿を差し込んで固定した寝具干竿であって、前記パイプブラケットは、回動自在と片持梁式支持を可能としたことを特徴とする、ベッド用寝具干竿。

【請求項 2】

前記角形支柱は、前記ヘッドパネルの左右小口及び背面に簡単に取り付けられる形状にしたことを特徴とする、請求項 1 記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 3】

前記伸縮干竿は、竿を伸ばして補助サポート頭部に振れ止め兼伸縮干竿を重ね合わせ、同時に握り固定ネジで締め付け、架設の堅固と物干し場を広くしたことを特徴とする、請求項 1 又は請求項 2 記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 4】

前記振れ止め兼伸縮干竿は伸縮自在の為、シングルサイズからダブルサイズまでのベッド幅に適用可能としたことを特徴とする、請求項 1 から請求項 3 いずれか記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 5】

ベッドフレームと前記ヘッドパネルを、L 型金物で補強して剛性を持たせたことを特徴

とする、請求項 1 から請求項 4 いずれか記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 6】

前記補助サポートを使用することにより、全ての前記ベッドに取り付けを可能としたことを特徴とする、請求項 3 から請求項 5 いずれか記載のベッド用寝具干竿。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、ベッド生活寝具類の清潔改善を考慮した、ベッド用寝具干竿に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来のベッド生活は、見立ては綺麗で清潔そうに見えるが、現実には物干し場が外部しか無いのが一般で、寝具類はさっと簡単に整える程度が日常で、常に湿気を含み不潔の温床になっている。

【0003】

特許文献 1（参照）はヘッドパネル左右柱に上部にスライド式のパイプハンガーを 1 段設けただけで、ヘッドパネルが壁面に配置されると使用が不可能の欠点がある。本考案は既存ベッド全てに適用可能としている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2008-302173 公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

前記に述べた通りベッド生活は、見立ては綺麗で清潔そうに見えるが、現実には物干し場が外部しか無いのが一般で、寝具類はさっと簡単に整える程度が日常で、常に湿気を含み不潔の温床になっている。

【0006】

本考案は、このような不潔なベッド生活を解決しようとするものであり、ベッド設置周りの空間利用で、ベッド用寝具干竿を実現することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本考案は、ベッドのヘッドパネル左右角形支柱と、パイプブラケットと、伸縮干竿の構成からなる寝具干竿で、ベッド周りの空間利用で設置を可能とするものである。既存ベッドフレームとヘッドパネルを L 型金物で補強して剛性を持たせ、その左右小口に支柱ベースを履かせた角形支柱を固定ビスで締め付けて自立させる。次にパイプブラケットを角形支柱頭部に差し込み、その水平部に伸縮干竿を差し込んで方向を決め、双方の握り固定ネジを締め付けて片持梁式支持の寝具干竿は完成となるが、再度伸縮干竿を伸ばして補助サポート頭部に振れ止め兼伸縮干竿を重ね合わせ、上部から握り固定ネジで締め付けて架設の堅固と物干し場を広くした、ベッド用寝具干竿。

【考案の効果】

【0008】

上述の様に、本考案のベッド用寝具干竿は、ベッド周りの空間利用で設置を可能として、回動・伸縮自在の使い易い物干し竿を設けて清潔改善に寄与される。

【0009】

起床時、即寝具類を干せるので毎日の湿気と臭気を除去され、清潔が保たれ持ち良く眠れる。

【0010】

前記ベッド用寝具干竿は、片持梁式支持架設でパイプブラケットの回動自在により方向を簡単に変えられるので、狭い部屋でも便利に使える。

【0011】

前記補助サポートの振れ止め兼伸縮干竿は、ベッド幅のSからWサイズまで適用可能である。

【0012】

従来ベッド生活は、見立は綺麗で清潔そうに見えたが、現実には万年床同然で不潔の温床、改善後は常に清潔が保たれ、ベッド生活の清潔革命である。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】 本考案のベッド用寝具干竿の斜視図である。

【図2】 同ベッド用寝具干竿の平面図である。

【図3】 同ベッド用寝具干竿の側面図である。

【図4】 同ベッド用寝具干竿の頭部側背面図である。

【図5】 同ベッド用寝具干竿の物干し例斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0014】

以下本考案の実施の形態を添付図面、図1～図5に基づいて説明する。

【0015】

図において、ベッド用寝具干竿は、既存ベッドフレーム12とヘッドパネル13を、L型金物11で補強して剛性を持たせ、次に角形支柱2に支柱ベース4を履かせ、ヘッドパネル13の左右小口下部に支柱ベース4を挟ませて自立させ、ルーズ孔キャップ5を外してその孔から固定ビス6で締め付ける。

【0016】

パイプブラケット3は角形支柱2頭部に差し込み、次に伸縮干竿1をパイプブラケット3の水平部に差し込んで方向を決め、双方を握り固定ネジ7で締め付けて片持梁式支持の寝具干竿は完成となるが、再度伸縮干竿1を伸ばして補助サポート8頭部に振れ止め兼伸縮干竿9を重ね合わせ、上部から握り固定ネジ7で締め付け架設の堅固と物干し場を広くした。最後にパイプブラケット3内のリング部に補助干竿10を差し込んで完了。

【0017】

以下、上記構成の設置方法を箇条書きで説明する。

- 1 既存ベッドフレーム12とヘッドパネル13をL型金物11で補強する。
- 2 角形支柱2に支柱ベース4を履かせ、ヘッドパネル13の両側小口下部に支柱ベース4を挟ませ自立させる。
- 3 角形支柱2側面のルーズ孔キャップ5を外してその孔から固定ビス6で締め付ける。
- 4 パイプブラケット3を角形支柱2頭部に差し込む。
- 5 伸縮干竿1をパイプブラケット3の水平部に差し込む。
- 6 同上の方向を決め双方握り固定ネジ7で締め付け片持梁式支持の寝具干竿は完成。
- 7 再度、伸縮干竿1の竿を伸ばして補助サポート8頭部に振れ止め兼伸縮干竿9を重ね合わせ、上部から握り固定ネジ7で締め付けて自立させる。
- 8 最後に全体の調整と、両パイプブラケット3内のリング部に補助干竿10を差し込んで完了。

【符号の説明】

【0018】

- 1 伸縮干竿
- 2 角形支柱

- 3 パイプブラケット
- 4 支柱ベース
- 5 ルーズ孔キャップ
- 6 固定ビス
- 7 握り固定ネジ
- 8 補助サポート
- 9 振れ止め兼伸縮干竿
- 10 補助干竿
- 11 L型金物
- 12 ベッドフレーム
- 13 ヘッドパネ

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

ベッドのヘッドパネルの左右角形支柱頭部に、パイプブラケットを差し込み、水平部パイプ小口に伸縮干竿を差し込んで固定した寝具干竿であって、前記パイプブラケットは、回動自在と片持梁式支持を可能としたことを特徴とする、ベッド用寝具干竿。

【請求項2】

前記角形支柱は、前記ヘッドパネルの左右小口及び背面に簡単に取り付けられる形状にしたことを特徴とする、請求項1記載のベッド用寝具干竿。

【請求項3】

前記伸縮干竿は、竿を伸ばして補助サポート頭部に振れ止め兼伸縮干竿を重ね合わせ、同時に握り固定ネジで締め付け、架設の堅固と物干し場を広くしたことを特徴とする、請求項1又は請求項2記載のベッド用寝具干竿。

【請求項4】

前記振れ止め兼伸縮干竿は伸縮自在の為、シングルサイズからダブルサイズまでのベッド幅に適用可能としたことを特徴とする、請求項3記載のベッド用寝具干竿。

【請求項5】

ベッドフレームと前記ヘッドパネルを、L型金物で補強して剛性を持たせたことを特徴とする、請求項1から請求項4いずれか記載のベッド用寝具干竿。

【請求項6】

前記補助サポートを使用することにより、全ての前記ベッドに取り付けを可能としたことを特徴とする、請求項3から請求項5いずれか記載のベッド用寝具干竿。

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

ベッドのヘッドパネルの左右角形支柱頭部に、パイプブラケットを差し込み、水平部パイプ小口に伸縮干竿を差し込んで固定した寝具干竿であって、前記パイプブラケットは、

回動自在と片持梁式支持を可能としたことを特徴とする、ベッド用寝具干竿。

【請求項 2】

前記角形支柱は、前記ヘッドパネルの左右小口及び背面に簡単に取り付けられる形状にしたことを特徴とする、請求項 1 記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 3】

前記伸縮干竿は、竿を伸ばして補助サポート頭部に振れ止め兼伸縮干竿を重ね合わせ、同時に握り固定ネジで締め付け、架設の堅固と物干し場を広くしたことを特徴とする、請求項 1 又は請求項 2 記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 4】

前記振れ止め兼伸縮干竿は伸縮自在の為、シングルサイズからダブルサイズまでのベッド幅に適用可能としたことを特徴とする、請求項 3 記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 5】

ベッドフレームと前記ヘッドパネルを、L 型金物で補強して剛性を持たせたことを特徴とする、請求項 1 から請求項 4 いずれか記載のベッド用寝具干竿。

【請求項 6】

前記補助サポートを使用することにより、全ての前記ベッドに取り付けを可能としたことを特徴とする、請求項 3 から請求項 4 いずれか記載のベッド用寝具干竿。